

CNA Report

News & Analysis Focusing On Audio/Video/Data Collaborative Conferencing Market

Independent & Unbiased Perspective Since December, 1999

電話会議・テレビ会議・データ会議(Web 会議)専門ニュースレター

Vol 5. No. 10 2003年5月30日号 毎月15日・月末発行 創刊1999年12月8日

発行人/編集人:橋本啓介(Keisuke Hashimoto) kay@hkeis.jp Copyright 2003 ケイ・オフィス All rights reserved.

ニュースダイジェスト

■タンバーク社、「Try & Buy」キャンペーン実施中

ノルウエーのタンバーク日本支社(東京都中央区)では、同社製品の「TRY&BUY」(試して購入)キャンペーンを実施中している。

同社製品の購入予定のお客様であれば、キャンペーンを利用することが可能。貸出台数、貸出期間などは別途相談となっている。今年の5月から7月の期間限定で行っているそうだが、「好評であれば延長する場合もあります。」(タンバーク日本支社支社長 石井良三氏)

現在タンバーク社の売れ筋商品は、TANDBERG880 と TANDBERG6000 で、日本での同社の販売も年々拡大しているという。

<http://www.tandbergjapan.com>

■エムストーン、ワビ・コンサルタンツ、テレビ会議特化のコンサルティング事業開始

テレビ会議業界紙ウェブ版「TeleconNews」、「テレビ会議ユーザーフォーラム」を運営する株式会社エムストーン(東京都豊島区)が、テレビ会議や音声会議などの企業導入に特化したコンサルティングサービス「ワビ・コンサルタンツ」を開始した。

「ワビ・コンサルタンツ」は、導入前後のユーザーに対するハードとソフトの両面から企業ニーズにマッチした導入と活用コンサルティングを行うのを目的とする。

サービスとしては、導入・運用コンサルティング、企業内トレーニング、セミナー・イベント企画、機器のオペレーション代行などを行う。

同社社長の藤原祥隆氏によると、「ユーザー系、ディーラー系からすでに引き合いがあり、メーカー系、ディーラー系との

補完関係でビジネスを進めていきたい。」と述べている。

<http://www.mstone.co.jp>

■アエスラ社、ビジネスショー2003で参考出典

今年のビジネスショー 2003TOKYO(5月20日から23日 東京ビックサイト、社団法人日本経営協会、東京商工会議所主催)で、イタリアのアエスラ社(テレビ会議・音声会議端末メーカー)のテレビ電話、「Aethra MAIA IP(アエスラ・マイア IP)」と、新製品と呼ばれている「Theseus(シーサス)」が NTT-ME ブースで参考出典されていた。

まだ、JATE 規格は現在取得のため準備中とのこと。それぞれ名前はローマ神の名前から来ているようだ。

<http://www.aethra.it>

■ラドビジョン社、インドに営業拠点を設置

イスラエルのラドビジョン社は、中国や日本での拠点開設に続き、インドのニューデリーに営業拠点を開設した。インドでの IT インフラの向上にあわせ、双方向の音声や映像通信に対する需要が拡大しているとの同社の見方から、インドでの事業拡大をねらう。

インド市場では、政府機関や大手企業などが主なターゲット市場と見ているが、サービスプロバイダー系のマーケットにも力を入れていく。

<http://www.radvision.com>

■レイダンス社、サービス利用増を記録

ウェブと音声を組み合わせた遠隔会議サービスを展開する米レイダンス社は、1日での課金対象サービス時間(BSM)における時間が、250万時間に達したと発表。同社では、遠隔ミーティングサービスに対する需要が伸びていると見ている。テクニカルサポートは24時間対応しているが、利用しているのは全体の1%程度という。サービスが自動化され、予約不要なサービスであるのが一因と見てい

る。同社 2002 年年次レポートによると法人顧客数は 3000 社にのぼるといふ。

<http://www.raindance.com>

■「GloBiz21」のバージョン 2.0-J 販売中

株式会社 IBE とメッセージワン株式会社が、PCベースのテレビ会議ソリューションである、「GloBiz21」のバージョン 2.0-J を今年の 1 月にリリースした。出荷開始は、2月7日。アップグレードの目的は、Firewall 環境への対応強化のためポート数の大幅な削減、バグフィックス。

具体的には、サーバーがオープンするポート数が大幅に削減、ライセンスキーコードが 16 桁から 25 桁へ変更、マニュアルの見直しなど。また、データ共有機能、ウェブのインターフェイス、AdminTool、サーバーデーモンなどで見直しが掛けられた。データ共有では、共有した画面をユーザーの PC で JPEG、ビットマップ形式で保存ができるようになった。

<http://www.message1.co.jp>

■三洋マルチメディア鳥取、SIP 対応の IP 電話機の開発ロードビジョンのツールキット

三洋マルチメディア鳥取株式会社(鳥根県鳥取市)は、同社が開発する SIP 対応の IP 電話機開発にロードビジョンの SIP 開発ツールキットを選定した。

<http://www.sanyo-mmt.com/>

CNA Report

Conferencing News & Analysis

Independent & Unbiased Perspective
Since December, 1999
By Keisuke Hashimoto

新年度業界各社からのメッセージ

Part II

■日本テレコム株式会社

法人事業本部マーケティング戦略推進部

田中 光太郎氏



日本テレコムはネットワークコラボレーションサービス「Synchronet(シンクロネット)」に、ISDN を利用した「TVミーティング」、予約のいらぬ電話会議「でんわミーティング」、WEB ブラウザ上での「Web コラボレーション」の各種メニューを取り揃え、お客様のご利用シーン、ご要望に併せ最適なご提案をさせていただきます。

「TVミーティング」はお客様の専用機器を利用し、全国一律 88 円/3 分(通信費込み 128K 接続の場合)でお安く多拠点接続TV会議が可能です。

「でんわミーティング」も同じく全国一律 88 円/3 分(通信費込み)でお安く、また会議のご予約をいただくことなくいつでもご利用いただける予約不要型電話会議をご提供します。

また、「Web コラボレーション」はピアツーピア型アーキテクチャを採用し、自らの利用環境に合わせた帯域制御を可能とする「受信側での帯域制御機能」などで高品質なWeb会議を実現します。

「TVミーティング」「でんわミーティング」は 2002 年 2 月から、「Web コラボレーション」は本年2月からご提供開始し、お客様からのお問い合わせ、ご要望は増加しており、導入されたお客様からの社内展開についてのご相談も多くなっています。特に製造業、製薬業、外資系企業を中心にお問い合わせが多く、どのお客様も低コストで高い生産性と業務効率化の実現手段を求められておられます。

今年度はまずはお客様のご要望を実現するために最適な手段、ツールを、弊社のネットワークサービスと併せて日本のマーケットにご紹介することを重点としたプロモーション展開を計画しています。

<http://www.japan-telecom.co.jp/>

業績発表(第一四半期:2003年1月-3月) Part II

■PC 会議系 4 社第一四半期収益関連指標比較

(単位:通貨単位米ドル:EPS 以外は百万)

		WebEx	Raindance	Centra	FVC
収益	当期	41.8	15.4	9.7	5.4
	前年	29.6	13.9	7.5	6.6
	伸率(%)	41.2	11	29.3	-18.2
純利益	当期	6.3	0.34	-2.9	-2.1
	前年	1.1	-1.8	-5.9	-1.7
EPS	当期	0.15	0.01	-0.11	-0.05
	前年	0.03	-0.04	-0.23	-0.05
現預金 残高	当期	82.8	32.8	37	7.1
	前年	47.2	34	45.4	7.3

* 前年は、前年当期を意味する。
* Raindance の現預金残高は、2002 年第四四半期の数値。
現預金には、短期投資残高も含まれる。

【参考:テレビ会議等端末系】(単位:通貨単位米ドル)

当期	Polycom	TANDBERG	VCON
収益	92.9	48.7	2.8
現預金残高	513	201	7.1

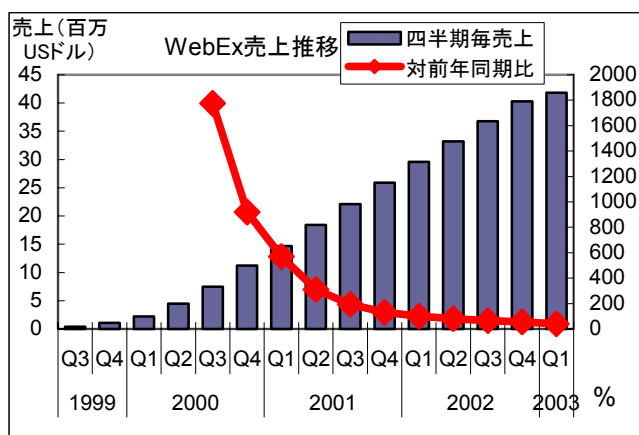
* TANDBERG はノルウェーの通貨単位から換算。

■ウェベックス社

米ウェベックス社の第一四半期は、4180 万 USD(約 50 億円)を計上、前年同期比で 41%の収益増。GAAP ベース(一般会計基準)の純利益は、630 万 USD(約 7 億 5 千万円)、前年同期の 110 万 USD(約 1 億 3 千万円)からの大幅増。また、それを反映して一株当たりの利益指標である EPS は、前年同期が 0.03USD であったが、今期は、0.15USD となった。

売上高営業利益率は、前年同期の 6%から今期は 17%。さらに、キャッシュフローベースで見た場合は、14.2USD(約 17 億円)。結果として流動資産勘定である現金預金短期投資残高ベースでは、2002 年第四四半期(10 月-12 月)から 1380 万 USD(約 16 億 5 千万円)増え、8280 万 USD(約 100 億円)であった。
DSO(売掛金回収期間)は、44 日から 42 日に若干改善。
貸倒引当金残高は、昨今の経済環境の悪化から引当額を

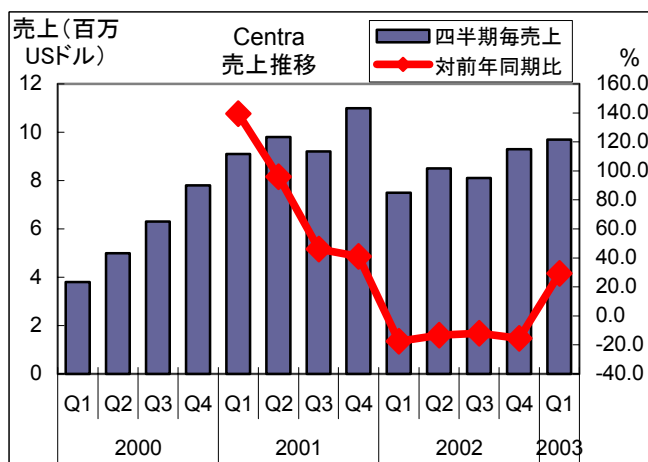
2002 年第四四半期の 340 万 USD(約 4 億 500 万円)から当期は、360 万 USD(約 4 億 2800 万円)にした。



同社 CEO によると、「非常にチャレンジングな経済環境で収益は目標に及ばなかったが、現預金残高、利益目標においては、一定の成果を上げることが出来た。」とコメントしている。

<http://www.webex.com>

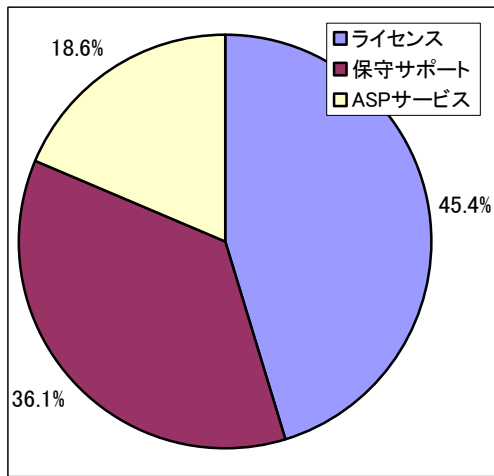
■セントラ社



第一四半期の収益は、970 万 USD(約 11 億 5 千万円)。前年同期比で 29%の収益増(750 万 USD)であったが、02 年第四四半期比では 4%と小幅な伸びとなったが当期損失を計上している。(後述)

その中でソフトウェアライセンス分が、440 万 USD(約 5 億 2 千万円)を占め対前年同期比 14%であったが、ASP による収益増が対前年同期比で 59%増の、180 万 USD(約 2 億 1 千万円)、保守サービスやサポートなどの分が 350 万 USD(約 4 億 2 千万円)で、対前年同期比 36%の

増加であった。



また、売上総利益率は、650 ベースポイント増の 80.2%、前年同期では、73.7%だった。また、取得資産の減価償却分 17 万 5 千 USD(約 2100 万円)を除外した見積値で計算した場合は、82%になる。

しかし、当期損失は、GAAP(一般会計基準)ベースで 290 万 USD(約 3 億 45 百万円)、1株当たり 0.11USD。前年同期 590 万 USD(約 7 億円)からは改善している(1株当たり 0.23USD)。

現預金短期投資勘定残高は、3700 万 USD(約 44 億円)であったが、DSO(売り掛け金回収期間)が 15 日悪化し 54 日となった。

また、ASP サービスの増加が繰延収益増に結びつき、残高は 1130 万 USD(約 13 億円)となった。

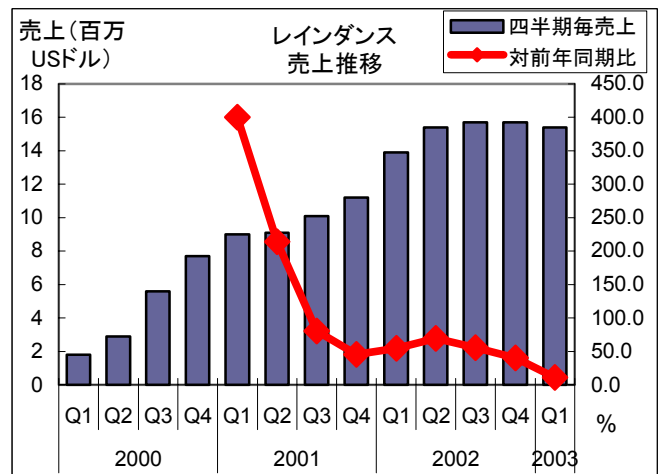
この当期において、80 社の新たなユーザーを獲得し、全世界で 1,106 社が同社のソリューションを利用していることになる。日本では約 50 社(約 4.5%)導入されているようだ。

<http://www.centra.com>

■レインダンス社

ウェブ会議+音声会議サービスを提供する米レインダンス社の第一四半期は、1540 万 USD(約 18 億 3 千万円)の収益を計上、前年同期比で 11%増だった。また前年同期では、180 万 USD(約 2 億 1420 万円)、一株当たり 0.04USD の純損失を計上していたが、当期は、二期連続の純利益を達成し、34 万 USD(約 4000 万円)を計上した。また利益水準を示す一つの指標である EBITDA(金利・税

金・償却前利益)では、380 万 USD(約 4 億 5 千万円)、前年同期比で 130 万 USD(約 1 億 5 千万円)の増。



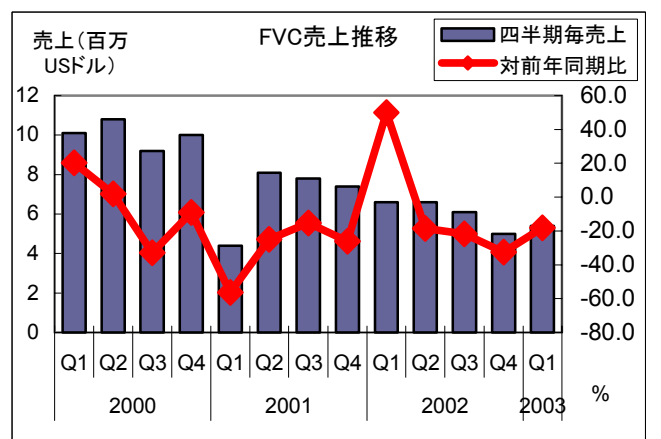
従って、現預金勘定残高は、キャッシュフローがプラスで推移した結果もあり、110 万 USD(約 1 億 3 千万円)増え、3280 万 USD(約 39 億円)であった。

売上高総利益率は、前年同期の 50%から当期は 58%へとなった。

これを受けて同社 CEO は、「サービスの利用増を反映した収益結果で、期待以上の成果だった。」との見方を示した。

<http://www.raindance.com>

■FVC



米 FVC 社の収益は右肩下がり傾向が若干引き戻された感じの収益結果であった。当期収益は、540 万 USD(約 6 億 4 千万円)ではあったが、210 万 USD(約 2 億 5 千万円)の純損失を計上し、1株当たり 0.05USD となった。前年同

期と比較して 120 万 USD (約 1 億 4 千万円) 減収となったが、これは ATM 関連製品の売上げ減が主に影響しているようだ。当期純損失は前年同期に比べ増となっている。

しかし、前年第四四半期(10 月-12 月)から比べ 7% の収益増というかたちにはなった。収益増は、ClickToMeet ソフトウェアやサポートサービスの売上げ増が要因。

今年4月に銀行と創業者兼会長と 400 万 USD (約 4 億 7 千万円) までの追加融資において合意を得た。

また、本社も現在のサンタクララからレッドウッドシティーへ移転させ、年間 90 万 USD (約 1 億円) のオフィス賃貸料の削減をする。

<http://www.fvc.com>

イベント情報

国内

■「ME Global WAVE」テレビ会議システム テクニカルセミナー「双方向 IP テレビ会議システムと映像ストリーミングシステムの統合ソリューション」

日時: 6 月 6 日(金) 13:30~17:30(受付開始 13:00)

会場: NTT-ME プレゼンテーションルーム

主催: NTT-ME

* STARBAK Communications 社製製品/TANDBERG 製品などの紹介。

詳細:

<http://nttiivs.ntt-me.co.jp/what/news2003/tvsysipseminar.html>

■IP テレビ会議とセキュリティ

日時: 6 月 11 日(水) 13:00~16:30

会場: 大塚商会本社 セミナールーム
東京都千代田区飯田橋 2-18-4

主催: 大塚商会, TANDBERG 日本支社

* TANDBERG 製品などの紹介。

詳細: <http://www.tandbergjapan.com/mktg/semi611.htm>

■COMMUNICATE, COLLABORATE, CONNECT

日時: 6 月 12 日(木) AM11:00(1時間程度)

会場: VisionCast を用いた Web セミナー

主催: プレミア コンファレンシング

* エムストーン藤原氏 (TeleconNews) による電話会議市場概況 講演(英語)

詳細:

<http://www.conferencing.com.au/productevent/productevent-jk.asp>

■Visual Nexus 新商品発表セミナー開催!!

日時: 6 月 12 日(木) 13:30~16:00(東京)

6 月 17 日(火) 13:00~15:30(大阪)

会場: 東京国際フォーラム G602 会議室

メルパルク Osaka 白鳥の間

主催: トーメンサイバービジネス株式会社

* PCベースのテレビ会議システムの紹介

詳細: <http://www.tomen-g.co.jp/visualnexus/index.htm>

■IP テレビ会議最新技術動向と利用事例勉強会

「テレビ会議、音声会議、ウェブ会議に関する、技術及び市場動向、事例紹介などの最新情報」

TeleSpanVTV ジャパンセミナー2003

日時: 2003 年 7 月 2 日(水) (受付開始 09:00)

会場: 青山 TEPIA (TEPIAホール/展示ホール C)

主催: 米 TeleSpan Publishing Corp. VTV ジャパン株式会社

* テレビ会議・電話会議・ウェブ会議(13 社出展)に特化したセミナーセッションと展示(展示のみの参加あり)

詳細: <http://www.hkeis.jp/tvj/>

CNA リポートバックナンバー

CNA リポートのバックナンバーは以下の URL からダウンロードできます。

http://www.hkeis.jp/cna_top.htm

ホームページドメイン変更について

CNA リポートのホームページのドメインですが、以前の「www.videoconference-forum.org」が廃止になり、今後は、<http://www.hkeis.jp> に変更になりましたのでご注意ください。

現在すでに「www.videoconference-forum.org」のドメインは廃止になっていますのでエラーになります。

後書き&次回発行予定について

今年も TeleSpan セミナーの時期が来ました。今年もマルチベンダーリセラーでセミナー経験の豊富な VTV ジャパン株式会社と共同で、7 月 2 日東京都内青山 TEPIA で開催することになりました。いよいよ後残り1ヶ月となり準備も最終段階に入りつつあります。詳細はイベント情報「IP テレビ会議最新技術動向と利用事例勉強会」をご覧ください。

このため、準備も最終段階に入っているため次回の発行(6 月 15 日号)は休刊になる可能性があります。また、6 月 30 日号はセミナー直前のため休刊とします。

CNA Report 編集長 橋本 啓介 kay@hkeis.jp

<http://www.hkeis.jp>

(CNA Report Vol 5. No.10 2003 年 5 月 30 日号終わり)

次回は、2003 年 6 月 15 日を予定しております。

ご購入ありがとうございます。